

2-①-D ベーシックコースシラバス（財源確保）

- ・ 自主財源開発手法ガイドブックに準拠したシラバス案です。（目次構成や内容は予告なく変更される場合があります。）

項目	内容	受講数	開講期
番号	R-NET1003	1プログラム	令和7年12月～令和8年3月 ※4半期ごとに令和9年9月まで受講可
科目名	ベーシックコース財源確保	研修	1本15分
対象	中核・現場人材	研修形態	オンデマンド型eラーニング（LMS配信、進捗管理・本人確認付）
講師	代表理事 村松 知木 / 副代表理事 森島 正巳		
研修の目的	本研修では、DMOが持続可能な経営を行うために不可欠な自主財源の確保方法について学びます。観光庁のガイドブックを基に、収益源の多角化、指定管理、ふるさと納税、地域資源を活かした商品・サービスの開発など、実践的なノウハウを習得します。受講後には、自組織の状況に応じた財源確保戦略を自ら設計・実行できる力を身につけます。		
ゴール	1. 自主財源開発の必要性と意義を理解し、組織に応じた戦略を立案できるようになる。 2. ふるさと納税、会員制度、広告収入、物販・イベント等、多様な収益手段の特徴と活用方法を理解する。 3. 財源確保を通じて地域経済の循環を促し、DMOの持続的な活動基盤を構築できる。		
研修内容	第1章 DMOの財源の基礎 第2章 財源の種類と特徴 第3章 法人格の種類による財源の特徴 第4章 CFOの役割と必要な知識、スキル 第5章 DMOの財源導入事例 Q&A集、用語集、フレームワーク集		
履修要件	選択式eラーニングテストに合格することが必要です。正解以外を選択した場合は進行できない方式として全問正解で合格とします。		
評価の方法・観点	・ eラーニング受講 100%- テスト未受験、欠席、不正行為（なりすまし受験等）は不合格とします。 ・ 受講者アンケートを収集し今後の研修改善に活用します。		
参考書	①令和7年3月25日改正 観光地経営ガイドライン ②自主財源開発手法ガイドブック（令和4年3月発行）		
研修終了後の交流	研修修了者は、他DMOとの情報交換や連携促進を目的とした交流会に参加できます。各地域の取組や課題を共有し、ネットワーク構築を通じてDMOの成長を支援します。		

